

事業実績書

事業名		詰将棋による地域将棋人口の拡大と沼津のにぎわい貢献
場所		沼津市 第5地区センターほか
期間		2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	4/1-4/10	詰将棋解答選手権オンライン会場準備
	4/11	詰将棋解答選手権沼津オンライン会場実施。参加者13名
	5/-6/	コロナ緊急事態宣言により活動休止（～7/10）
	7/16	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者11名） 場所：第5地区センター
	7/30	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者13名） 場所：第5地区センター
	8/13	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者11名） 場所：第5地区センター
	8/27	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者14名） 場所：第5地区センター
	9/10	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者16名） 場所：第5地区センター
	9/24	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者13名） 場所：第5地区センター
	10/8	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者17名） 場所：第5地区センター
	10/24	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者14名） 場所：第5地区センター
	10/25-28	まちかど詰将棋ウォーク準備（店舗依頼など）
	11/1	まちかど詰将棋ウォークスタート（～11/30）（参加者25名） 場所：仲見世商店街ほか
	11/3	詰将棋早解き競争（参加者：のべ19名） 場所：仲見世商店街マルサン書店
	11/12	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者15名） 場所：第5地区センター
	11/26	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者14名） 場所：第5地区センター
	12/3	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者16名） 場所：第5地区センター
	12/17	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者14名） 場所：第5地区センター
	1/12-	コロナ緊急事態宣言により活動休止（～2/10）
	2/11	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者17名） 場所：第5地区センター
	2/25	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者15名） 場所：第5地区センター
	3/4	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者15名） 場所：第5地区センター
	3/7	終盤力強化教室（講師：中尾敏之六段、補助講師：萩原、中川、根城 参加者19名） 場所：第5地区センタ
	3/11	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者17名） 場所：第5地区センター
	3/18	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者18名） 場所：第5地区センター
	3/25	詰将棋教室（講師：岡村、補助講師：萩原、中川、根城 参加者16名） 場所：第5地区センター

事業効果	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>①販わい創出のための参加者数増と将棋に対する興味度合いを測定するため詰将棋解答選手権参加者数 +100% 正答率 20%アップ という目標を立てた。コロナ影響で会場での実施ができず、当初想定したデータが取れない中で、代替としたデータは目標に届かないものの、おおむね改善できた。</p> <p>詰将棋解答選手権オンライン実績(20年4月実施)</p> <p>13名参加、正答率62% ベースデータ (初級戦 10名参加、正答率83% 一般戦 8名参加、正答率35%)</p> <p>まちかど詰将棋ウォーク実績(20年11月実施)</p> <p>25名参加、正答率73% 参加者数 +92% 正答率 18%アップ</p> <p>詰将棋早解き競争実績(20年11月実施)</p> <p>延べ19名参加、正答率63% 参加者数 +46% 正答率 2%アップ (第1問 8名参加、正答率78% 第2問 11名参加、正答率41%)</p> <p>②にぎわい貢献のための追加事業として「まちかど詰将棋ウォーク」を実施した。仲見世商店街店舗、大手町商店街店舗、リバーサイドホテル、将棋クラブに協力してもらい、詰将棋を解きながらウォーキングするイベントを11月の1か月間実施し25名の参加を得た。</p> <p>③効果測定のためのアンケートでは、詰将棋解答選手権では「楽しかった」が83%を占め、まちかど詰将棋ウォークでは「来年も参加したい」の割合が93%を超え、事業として一定の集客効果を実現した。</p>
自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>コロナの影響で事業の中止や延期などがあったものの、追加事業や日程シフトでカバーし、トータル参加者は延べ352名に上った。</p> <p>18回に及ぶ詰将棋教室、プロ棋士による終盤力強化教室、詰将棋解答選手権のオンライン実施、まちかど詰将棋ウォーク企画、詰将棋早解き競争実施など様々なイベントと教室で1年間活動できた。</p> <p>またコロナ禍の接触リスクに配慮したリアルとバーチャルを組み合わせた臨機応変な企画を実施できた。(詰将棋解答選手権では沼津専用サイトを急遽構築しオンライン実施、まちかど詰将棋ウォークでは詰将棋問題ポスターのQRコードをスマートフォンで読ませ解答させる方式)</p> <p>さらに詰将棋教室受講者の中には講師を上回る速さで詰将棋を解答できるようになった生徒も数人出てきており、それに伴い棋力も向上している。詰将棋、終盤力に特化して行ってきた教室の成果が表れてきた。</p>

今後の活動予定	<p>日本将棋連盟沼津支部としては今後も指し将棋と詰将棋の2本立てで、将棋普及を推進し、賑わいの一助としていきたい。</p> <p>具体的には、指し将棋は将棋大会、将棋教室、指導将棋会のイベント、詰将棋は詰将棋解答選手権、詰将棋早解き競争、まちかど詰将棋ウォークなどにより活動を継続してゆく。</p> <p>今年度も4月10日の詰将棋解答選手権はコロナ影響でオンライン実施のみとなってしまったが、来年度は実会場で実施し、収入面を改善するとともに県東部の将棋文化の中心として、沼津をアピールしていきたい。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------